

令和5年度第48回冬休み子ども読書感想文と手紙作品コンクール（主催：茨城県読書推進運動協議会、後援：茨城県教育研究会学校図書館研究部、茨城新聞社、茨城県立図書館）の入賞者が決定いたしました。

幼児の部、小学生低学年の部・中学年の部・高学年の部、中学生の部の5つの部門ごとに、課題図書についての読書感想文と手紙作品を募りました。最終審査の結果、最優秀賞5点をはじめ、優秀賞、優良賞、佳作に多数の作品が入賞しました。入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。また、残念ながら入賞されなかった皆さんも、その努力はすばらしかったです。

5つの部門ごとの作品を読ませていただきましたが、発達段階の違いこそあれ、読書をとおして感じたことや考えたことを、自分の言葉で表現豊かにまとめることができていました。読書をとおして学んだことや新たな気付きなどが素直な表現で書かれている作品には説得力があり、書き手の気持ちに共感することができました。また、物語の登場人物と自分自身の今を重ね合わせたり、登場人物の心情に寄り添って語りかけたりすることで、自分自身を見つめ直し、考えを広げることができていました。

さらに、どの作品にも感じられたのは「読書の喜び」です。読書をとおして、私たちは感動したり、ハラハラ・ドキドキしたりと、様々な感情を味わうことができます。また、読書をとおして、私たちは新たな知識を得たり、想像を膨らませたり、自分の考えを広げ、深めたりすることができます。これは、とても素敵で貴重な経験だと思います。

このコンクールの良さは、幼児から中学生まで幅広く応募できることです。また、学校・園を通さず直接応募できる点も、時代の流れに合っていると感じます。さらに多くの皆さんのご応募をお待ちしております。

審査委員長 茨城県教育研究会学校図書館研究部長  
水戸市立妻里小学校長 橋本 浩志